

リモコンエール 環境制御機能 簡易取扱説明書

アクセスエール株式会社

【1】 準備

まず、通常のテレビのリモコンエールとしての iOS 機器とリモコンユニットの接続を行い、テレビの操作が出来るようにしてください。（ここまでは通常の取扱説明書を参照してください）

<https://accessyell.co.jp/wp/wp-content/uploads/2024/02/Remoconyell-manual-Ver.1.2.pdf>

以下、リモコンエールのユニットとの接続が完了していることを前提に進めます。

【2】 環境制御モードへの切り替え（「デモモード」での利用または「サブスクリプション契約後」に選択可能です）

設定>「1-1 操作レベル」>「環境制御」を選択



【3】各項目でのボタンの設定

環境制御モードに切り替えてから利用できるまでの流れを以下に示します'

- (1) 操作機器のボタン登録、追加 → (2) ボタンに対応したプリセットデータ選択
- (3) ボタン内の個別信号を追加で登録

以下、この流れに従い、設定方法を記述します。

最初に 設定>「4-1 信号登録と設定」を開きます。その後、下記の画面の操作を行います。

（1）操作機器のボタン登録

「+」のボタンをタップ



名称を登録（ここでは「レコーダー」）



レコーダーが追加された



同様に合計 5 個まで増やした例（最大で 2 ページ／16 個まで登録できます）



- 最初は 1 個だけ追加して、個別登録などを行い、どんな動作をするのか理解してから、順次増やしてください。
- 最初は 1 番目のボタンにテレビが設定されていますが、自由に変更可能です。

(2) ボタンに対応したプリセットデータ選択

次に各の信号の内容を設定します。
設定したいボタンをタップしてメニューを表示します。
以下、下記の①～⑤で信号内容を登録します。
メニューの内容を右の表に示します。

名称	内容
プリセットデータを選択	アプリ内に入っている機種別のデータを登録
個別信号登録	ボタン内の個別の信号を候補の中から選択
メインメニューボタン名称変更	選択したボタンの名称を変更
メインメニューボタン色変更	選択したボタンの色を変更
ボタン消去	選択したボタンを消去
キャンセル	このメニュー画面を消す

①「プリセットデータを選択」をタップ ②登録したい機器を選択 ③品番を選択 ④決定/テストを選択 ⑤テストを終了



注意)

- ③で「テレビ、レコーダー、エアコン、照明、扇風機」を選択すると、各機器のリモコンのプリセットデータを利用できます。「カスタム 8、カスタム 12、カスタム 16」では個別信号登録を行い、必要なボタンを適宜追加できます。
- ④のテストの内容は機器によって異なります。主な操作項目を示しています。
- 該当機種が無くて、よく似た品番などで試せば、動作する可能性が高いのでいろいろ試してください。
- 動作しない信号は別途、「個別信号登録」のメニューから、学習登録させることで対応可能です。
- 動作する機種が無い場合でも、一旦、機種（レコーダー、扇風機など）を選んでから、その下の階層のボタンで、同様に個別に信号を学習させることで対応が可能です。

プリセットデータで機器が動作することを確認したら「OK」（もしくは「テスト終了」）を選択し機種を確定します。

(3) ボタン内の個別信号を追加で登録

プリセットデータ確定後、そのボタンの下の階層が表示されます。
右図はレコーダーのプリセットデータに対応する個別の信号です。
ここで各ボタンをタップすると、データの内容、表記、色などを個別に変更できます。



「信号学習」で直接赤外線リモコンの信号を登録することもできます。

- テレビのリモコン画面のプリセットデータを設定した場合、画面 1・2・3 の内容は変更できません。
信号の追加は画面 4 で行えます。
- エアコンのリモコン画面のプリセットデータを設定した場合、項目の変更はできません。
独自のリモコン信号がある場合（パナソニック「ナノイー」、シャープ「プラズマクラスター」、ダイキン「換気」等）は画面下に最大 2 つまで信号を追加できます。

これらを完了したら、右上の「戻る」で上の階層へ戻り、登録を続ける場合は、改めて【3】から追加設定します。
利用者の操作に戻る場合は、再度右上の「戻る」を押して、設定を終了します。

以上